

# 議会だより 142号 掲載内容の訂正とお詫び

「議会だより142号」に掲載した内容に次の通り誤りがありました。  
お詫び申し上げますとともに、次の通り訂正いたします

## 20 ページ：議員活動の自己評価（評価概要）内

### 「教えて！ぎかいのコトバ」の本文

誤：（昨年度：9名提出 137 項目）

正：（昨年度：9名提出 143 項目）

## 21 ページ：「議員」の評価結果（個人票）内

### 「評価期間」

誤：令和5年4月～令和

正：令和5年4月～令和6年3月

### 「藤山議員：評価項目数」

誤：19 項目

正：18 項目

### 「藤山議員：目標項目」

削除：新型コロナウイルス感染症対策（人的支援・町内経済支援）

## 21～23 ページ：「議員」の評価結果（個人票）内

### 「木村議員、平野福議長、小鹿議員、平沼議員、溝部議長、熊野議員分」

下記の掲載の通り訂正

## 21～23 ページ：「議員」の評価結果（個人票）内 議員歴

### 「佐藤議員：議員歴」

誤：36 年

正：29 年

### 「木村議員：議員歴」

誤：16 年

正：17 年

## 21～23 ページ：「議員」の目標（公約）内

### 「平沼議員：具体的な項目」

誤：時期改選期に向けた新たな議員定数と報酬、なり手対策、女性議員の選出に向けての町民理解度を上げる対応

正：次期改選期に向けた新たな議員定数と報酬、なり手対策、女性議員の選出に向けての町民理解度を上げる対応

### 「熊野議員：議員歴、評価項目数」

誤：議員歴8年 4項目

正：議員歴9年 7項目

## 杉村志朗

75歳 議員歴25年 11項目

分野	具体的な目標項目	評価	
		取組	成果
行政	第2青函トンネル構想の活動推進	○	△
	防災危機管理の訓練	○	△
財政	各町内会館の推進	○	○
	無理のない基金の活用	○	○
経済	スルメ加工従事者の高齢化対策	○	△
	養殖アワビ飼育の安定営業	○	△
福祉	町立診療所に対する調査	△	△
	高齢化対策に関する調査	○	○
	少子化対策と高齢者医療の推進	○	△
教育	令和6年度高校入学者の増に期待	○	○
その他	運転免許返納者への対応	▲	▲

## 熊野茂夫

74歳 議員歴9年 4項目

分野	具体的な目標項目	評価	
		取組	成果
財政	健全で持続可能な財政運営への提言をいたします	○	○
教育	こども園、小・中学校の学習環境の改善と、基礎学力向上のための提言をいたします	○	○
	福島商業高校存続のために活動いたします	○	○
その他	地域の生活環境の改善・整備について行政へ提言してまいります	○	○

## 平野隆雄

75歳 議員歴28年 23項目

分野	具体的な目標項目	評価	
		取組	成果
行政	第2青函トンネル構想推進の実現へ	○	△
	岩部クルーズ等の活性化による交流人口増	○	△
	福島川改修事業の早期実現	○	△
	福島(松浦)、松前(荒谷)間の新ルート防災道路の推進	○	△
財政	財政調整基金の有効活用	○	△
	コロナ後の町立診療所の健全経営	○	▲
	町内会にあった新しい町内会館へ	○	△
	ふるさと応援基金の活用	○	△
	町立診療所の健全経営実現へ	○	△
	旧改善センター、旧吉岡支所等の早期解体の実現へ	○	▲
経済	養殖コンブ製品増の推進	○	○
	スルメ加工品以外の商品開発推進	○	▲
	エゾアワビの稚貝を全力で確保	○	▲
福祉	超高齢化と超人口減少に対するまちづくり提言	○	△
	吉岡温泉ゆとらぎ館オープン後の提言	○	△
	がん検診の検診率向上推進	○	△
教育	少子化の中の教育行政推進	○	△
	福島商業高校入学増の推進	○	○
	青少年交流センターで生徒と町民の交流推進	○	△
その他	縄文土器等による町づくり提言	△	△
	両記念館、伊能忠敬公園の観光客に向けたPRを推進	△	△
	福島(吉岡)、松前(荒谷)新ルート防災道路の推進	○	△
	岩部海岸クルーズによる交流人口の活性化推進	○	△

## 小鹿 昭義

71歳 議員歴4年 16項目

分野	具体的な目標項目	評価	
		取組	成果
行政	一人ひとりが輝く、みんなが主人公のまちづくりへの提言	△	△
	第2青函トンネルの構想実現	○	△
	新しい風を吹き込み、安全安心で安定したまちを構築し、町民と共に未来に向かうまちづくりへの提言	△	△
財政	財政歳入歳出の更なる透明化の向上を図り、健全な町運営を推進	△	▲
	経費全体についての見直しを行い、予算編成の見直しを提言	△	△
経済	農業、漁業、水産、林業、商工業、観光などの地場産業の振興の推進	△	△
	物価高による町民に対する経済面の支援を提言	○	△
	自然、文化、歴史など、まちの特性を活かした広域観光の事業の推進	△	△
	新卒者や求職者のための雇用の場を確保するため、企業誘致の推進を提言	△	△
福祉	お年寄りや身体の不自由な方の要望に応じていく仕組みの確立化を推進	△	▲
	お年寄りを助成する施設や、民間企業への支援を推進	△	△
	子どもたちの社会教育の充実を目的に、お年寄りとの交流機会を推進	△	▲
教育	小・中学生のパソコンを使ったプログラミングなど、資格取得へ向けた学習の提言	○	△
	低学年向けにネイティブでやさしい英会話教育の場を提言	△	△
	家庭、学校、社会が連携した町民主体の文化、スポーツ活動を支援し、自ら学ぶ意欲と個性を伸ばしていく教育を推進	△	△
その他	町民の目線に立ち、町議、町職員と共に、話し合い、「町民のためになるのか、ならないのか」を見極め、課題に取り組む	○	△

## 平沼 昌平

68歳 議員歴19年 14項目

分野	具体的な目標項目	評価	
		取組	成果
行政	IT環境の整備促進と移住者を呼び込む定住環境の整備促進	○	△
	第2青函トンネル構想実現に向けた町内外に対する活動	○	△
	防災対策の対応と危機管理の熟成を提言（避難路確保、避難備蓄庫等）	△	△
財政	人口減少に対する積極的な財政支援と効率的な事業支援の提言	△	△
	子育て環境整備と出生率向上に向けた財政支援策について提言	△	▲
経済	農林水産業の担い手対策と地元企業の雇用環境の充実	▲	▲
	移住促進に向けた対応と地元町民の理解による協力体制への提言	△	△
	高齢者再雇用に向けた対応と地元町民の理解による協力体制への提言	△	△
福祉	ウィズコロナの対応に向けた生活環境の取組の提言	△	▲
	高齢化人口に対する福祉環境の充実と施設環境の整備に向けた提言	○	△
教育	福島商業高校存続のための生徒確保に向けた取組と提言	○	△
	小・中・高一貫校に向けた町独自の教育体系	▲	▲
その他	議会議員の魅力化と議会活動の見える化に向けた取組	▲	▲
	女性議員・若者議員のなり手確保のための議会改革	▲	▲

## 溝部 幸基

76歳 議員歴43年 34項目

分野	具体的な目標項目	評価		
		取組	成果	
行政	「両基本条例」の目的達成に向けた活動推進(各種計画に関する提言・検証)	△	▲	
	自律、協働の「小規模多機能自治」を調査	▲	▲	
	行政サービスの効率的な運営への提言(外部委託・時間差出勤・研修等)	▲	▲	
	防災対策の提言(災害弱者・訓練・冬季対策等：危機管理に関する研修)	▲	▲	
	過疎自治体における政策推進のあり方	△	▲	
	浄化槽(下水道整備)の普及推進	▲	▲	
	第2青函トンネル構想実現活動の推進	○	△	
	ハラスメント条例の制定に向けた調査研究	△	▲	
	財政	財政健全化への取組(予算・決算審査・行政評価充実：基金の有効活用)	△	△
		退職手当制度の抜本的改善	▲	▲
各団体補助金、事業助成金等のあり方		▲	▲	
経済	起業に挑戦できる支援システムの創設	▲	▲	
	異業種連携による「福島ブランド」の開発(ブランド化システムの再検討)	▲	▲	
	地場産品の6次産業化に関する調査研修	▲	▲	
	産業団体と課題に取組む産業公社仕組みづくりの調査研修	▲	▲	
福祉	地産地消、食育、環境リサイクルで「自律循環型の町づくり」の研修	▲	▲	
	過疎自治体における超高齢化対策調査	▲	▲	
	全町的な「健康な町づくり」で医療費の節減	▲	▲	
	公立診療所のあり方に関する調査研修	▲	▲	
	在宅介護支援体制の整備(社会福祉協議会の役割)	△	▲	
	労働者協同組合に関する調査研究	△	▲	
	家庭ごみ等減量対策、具現化の調査研修	○	▲	
	教育	小中学校一貫教育、コミュニティスクールの調査研修	▲	▲
		過疎自治体における高等教育推進に関する調査	△	△
		「子育て基本条例」制定に向けた取組み(情報収集・研修)	△	▲
「自分(達)ですべき事は自分(達)でする」主体性をもった自治活動の推進		△	▲	
食育・地産地消の推進(食育基本計画→情報周知・実践計画・研修)		△	△	
わかりやすく、町民が参画出来る議会の実現(議会基本条例の周知)		○	△	
活発な討議(討論)ができる議会の実現		○	△	
その他	政策的な提案のできる議会の実現	△	△	
	幅広い情報収集、積極的な研修参加	○	○	
	視察の積極的な受け入れ	○	○	
	ホームページの充実(提案・情報発信・参加型)	△	△	
	各種行事への積極的な参加	○	○	